

鹿追中学校の小中高一貫教育

●カナダからの訪問団を迎えて



恒例となったストニイブレイン町からの訪問団を迎える学校の交流授業（カナダ学）。書道で交流しながら互いの文化を伝え合い、友情を深めつつコミュニケーション能力を身につける貴重な実践の学びの場となっています。

鹿追中学校は、全校生徒137人が「質実剛健」の校風のもと、小中高一貫教育の要として町内各小学校や鹿追高校との連携を進め、新学習指導要領完全実施の本年、授業や特別活動の取組を充実させています。またPTA活動や町内外各機関と連携した事業も数多く行っています。内容豊かでバラエティに富んだ特徴ある授業や活動の一端をご紹介します。

●実社会数学は実践力と体験の学び

一見、工作か何かの製作に見えますが、実は数学の授業。実践的な内容を体験も交えて学ぶ実社会数学で紙を切りながら図形の縦横比を確認しています。理論と実践の相乗効果で学びの質を高める工夫が行なわれています。



●「防災」の観点も加わって新地球学の授業が進行

昨年までの「地球学」は今年度から「新地球学」として内容が新たに「防災」等の観点も加えてスタートしています。写真は1年生の野外観察において河川氾濫の跡を調べ、今後の防災や環境保全について考える授業の様子です。

●習熟度別学習の「学び合い」とは



本校では数学における少人数による習熟度別学習の時間を本年度大幅に増やしています。グループ構成は原則単元毎に変化し、少人数のグループで担当の先生から適切な指導・助言を受けながらお互いの「学び合い」で意見を交わしつつ一人一人の進歩を確かなものにしていきます。今後の成果が楽しみな授業が続いています。



●小中部活動連携

(吹奏楽部・7月7日白蛇姫まつり演奏)



小中高が部活動でも連携して取り組む吹奏楽部の活動。7月には然別湖畔で鹿中・瓜中・鹿高に自衛隊の皆さんも加わった素晴らしい演奏を披露し多くの拍手をいただきました。

鹿追小学校の特色ある学校経営

【特色ある教育活動】

- ★新地球学～ 4年目の研究を進める教科です。ネイチャーセンターと連携した体験活動やバイオガスプラントなどの見学をとおして、環境や防災への意識を高める学習を進めます。
- ★カナダ学～ 英語によるコミュニケーションの楽しさを実感させながら、国際社会を生きる基礎となる態度や力を育てます。
- ★その他～ 基礎基本の定着と学力向上への取組を推進します。
 - ・朝の学習で、基礎基本の定着と読書の習慣化を図ります。
 - ・全校家庭学習や放課後自学チャレンジ教室を開催し、自ら学ぶ力を育てています。
 - ・長期休業中にも自学チャレンジ教室を通して、学ぶ機会を設定します。

真の国際人を育てる教育を目指して！

宇宙飛行士
山崎直子さん



ともにかがやこう！

【地域との連携】
★地域公開参観日を実施し、開かれた学校を目指しています。
★学校支援ボランティア「鹿小きらめき隊」のサポートを受けて、教育活動を推進します。

【家庭との連携】
★PTA活動の活性化を図ります。
★保護者アンケートを生かした学校改善に努めます。

【教師の資質向上】

- ★校内研修～ 「かわり、つながる」をキーワードに、カナダ学・新地球学・算数・特別支援の4部会で研究を進めます。
- ★少人数指導～ 主に算数において、一人一人の習熟度に合わせた少人数での学習により学力向上を目指します。
- ★特別支援教育～ 個別の指導計画をベースに、日常的な支援を充実させながら、実践的な研究に取り組めます。